

平成27年度年報



【平成27年5月 第1回吉野山森林植生観察会の様子（七飯町／吉野山国有林）】

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



国民の森林・国有林

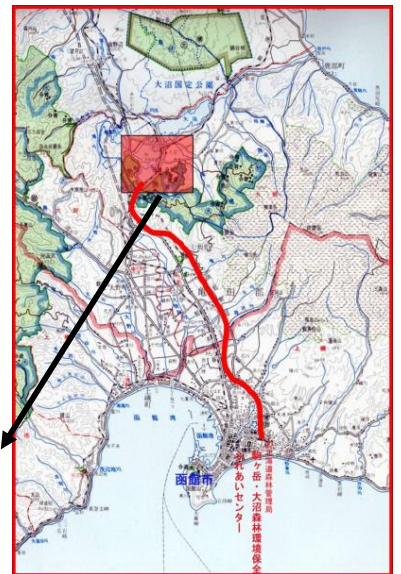
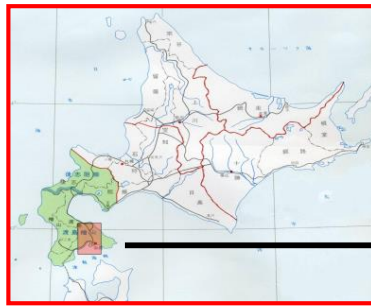
林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

大沼地域自然再生等モデル事業の取組

モデル事業地は、大沼国立公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所の選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのグランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、**「多様性のある森林への再生」**と当該地及び近接地において**「森林環境教育の推進」**を主とし、取り組みを進めることとしています。



- ＝ 検討委員会 ＝
- 平成16年度
グランドデザイン作成ために
3回実施。
 - 平成17年度～平成26
年度「グランドデザイン」に
基づく事業内容の検証
及び検討のため年に2回
実施。

☆「大沼自然豊かな森づくり協議会」の開催

平成27年4月16日（木）、南北海道大沼婦人会館（七飯町）において、23名が参加し第11回「大沼自然豊かな森づくり協議会」総会を開催しました。宮崎会長を議長に平成26年度の実行内容、27年度の計画と実行体制について事務局より提案の後、討論を行いました。

また、平成28年3月14日（月）には、同じく南北海道大沼婦人会館において、13名が参加し第12回総会を開催しました。「大沼地域自然再生検討委員会」の終了に伴う協議会の新たな役割の確認、会則の改正等を行い、新役員が選出され、今後も自然再生等の各種事業実行に当たり、お互い協力・連携を図り取り組むことを確認し総会を終了しました。

★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のグランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。

第11回総会（平成27年4月16日）



第12回総会（平成28年3月14日）



☆ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツトウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22.90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



「多様性のある森林への再生」箇所において、様々な取り組みを行っています。平成27年度の主な実施内容は、次のとおりです。

「下刈作業」の実施

平成27年7月11日（土）、大沼地域自然再生等モデル事業の「多様性のある森林への再生箇所」において、大沼自然豊かな森づくり協議会の参加団体ら総勢19名により、下刈作業を実施しました。

作業地は吉野山国有林（七飯町）のドイツトウヒ伐採跡地で、平成18年にミズナラやトチノキの実を播種した箇所を実施。苗木は2メートルを超える雑草に覆われており、参加者は雑草をかき分け、苗木を切らないよう慎重に鎌を振り、作業を行いました。





「国際ワークキャンプ」の受け入れ

「国際ワークキャンプ」とは、世界中から集まった若者が一緒に生活しながら、「森林の手入れ」、「動植物の保護」、「有機農業の支援」、「学校の建設」など地域での環境ボランティア活動を行う「国際ボランティアプロジェクト」で、世界約100か国、約3,000箇所で行われています。日本では国際ボランティアNGOのNICE(ナイス)が「国際ワークキャンプ」の企画、運営、参加者の募集等の事務を行います。日本各地に協力団体があり、北海道では函館市にある「北海道国際交流センター」が受皿団体になっています。

当ふれあい推進センターでは、吉野山国有林(七飯町字大沼)で実施している「大沼自然再生等モデル事業」において、自然再生等への取組の一環として、各種森林ボランティア活動の機会を提供しています。今年、フランス、イタリア、エストニア、ロシア、スペイン、ベトナム、タイ、韓国、香港、台湾、日本など11カ国、20代を中心とした若者延べ20名が、ここ大沼に集合しました。

当センターが担当する”森林ワーク”では、7月22日から9月9日までの6日間、間伐や下刈、歩道修理などの作業をサポートしていただきました。

キャンパーに概要説明



作業終了後、集合写真



下刈作業



ランチタイム



除伐Ⅱ類作業



吉野山森林植生観察会の実施

各種の自然再生の取組みが始まってから10年が経過したことから、主に下層植生の変化(変遷)を観察するため、5月16日(土)、6月20日(土)、9月26日(土)の計3回、「植生観察会」を実施しました。大沼自然豊かな森づくり協議会のメンバーを中心に延66名の参加がありました。

観察会は季節毎の植生を観察するため、春・夏・秋の3回行い250種以上の植生を確認することが出来ました。

季節により変化する植生を観察

第1回 5月16日



第2回 6月20日



第3回 9月26日



自然再生検討委員会～役割を継承し終了

平成27年12月14日（月）、南北海道大沼婦人会館（七飯町）において、15名の参加のもと、「大沼地域自然再生検討委員会」を開催し、平成27年度の自然再生事業の実施状況の検証を行いました。

平成16年に検討委員会が発足してから、10数年が経過し、グランドデザイン及び長期スパンでの計画の作成を行い概ね役割を達成することができたことから、今後は「大沼自然豊かな森づくり協議会」において具体的な作業内容等の短期計画の作成及び実行結果の検証を行うこととして「大沼地域自然再生検討委員会」は今回をもって終了することとなりました。

委員の皆様、大変なご尽力をいただき、ありがとうございました。

27年度自然再生検討委員会



平成16年12月8日
第1回自然再生検討委員会



平成16年12月8日
現地検討会



平成24年11月5日
現地検討会



☆ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の樹木博士認定常設コース（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図る活動を実施しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための樹木博士認定会の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

樹木博士認定コース

子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立 現会長：木平勇吉東京農工大学名誉教授）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「常設コース」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年定期的開催しています。



樹木博士認定コース案内板

進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い成績に応じて段級（最高位は10段）を与え、認定書を授与します。



樹名板

認定書

コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [450 m]
テストコース [390 m]
周 遊コース [2,050 m]
- ◆ 試験 樹 種 46種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。



平成27年度の樹木博士認定会の取組については、公募により6月、7月、8月、9月の4回の定期開催を実施しました。また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第1回開催（西大沼）



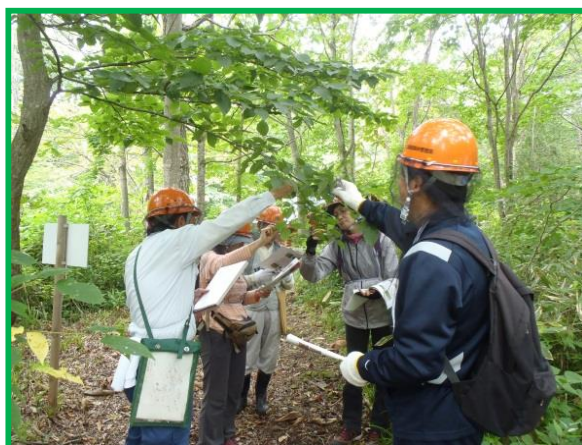
第2回開催（西大沼）



第3回開催（西大沼）



第4回開催（茂辺地）



本年度の定期開催の参加者総数は41名であり、そのほとんどは大人の常連者であることから、子ども（教育機関等）への働きかけが必要となっています。

● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内 訳
第1回	6月 7日（日） 10：00～12：30（西大沼）	12人	子供 0、大人12
第2回	7月 5日（日） 10：00～12：30（西大沼）	15人	子供 0、大人15
第3回	8月 2日（日） 10：00～12：30（西大沼）	6人	子供 0、大人 6
第4回	9月 6日（日） 10：00～12：30（茂辺地）	8人	子供 0、大人 8

● その他開催

森林への誘い講座・江差北小グリーンスクール	61人	子供35、大人26
-----------------------	-----	-----------

● 樹木博士認定状況

27年度末 累計	2,310人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた計です）
----------	--------------------------------

☆ 自動撮影装置による野生動物調査

当センターでは、大沼周辺(七飯町)の森林における野生動物(中大型哺乳類等)の生息調査を実施しています。

自動撮影カメラの設置



- 調査目的・・・野生動物の生息状況を長期的に記録し、その変化と環境の変化とのかかわりを研究する。
- 調査方法・・・自動撮影装置(カメラ)による撮影(焦電型赤外線センサーに反応する動物を撮影)
- 調査時期・・・年2回(夏、秋)実施

PHOTO



タヌキ



コウモリ



キジバト



エゾシカ



ヒグマ



キツネ

☆ 森林づくり塾2015 開校

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成を目的としています。

森林づくり塾の取組については今年度で9年目となります。公募を行った結果、函館市及び近郊などから30名が参加し、森林作業を中心とした全5回の講座を実施しました。

全5回のうち3回については昨年に引き続き渡島総合振興局東部森林室との連携企画として森林室で実施している「森への誘い講座」の講座生の方も参加されての開催となりました。

各講座の実施内容については、次のとおりです。

第1回講座

第1回は、5月24日（日）函館山にて、講師に北海道アウトドアガイドの自然観察指導員木村マサ子さんを招き、総勢23名にて「植物観察会」を実施しました。

当日は、天候にも恵まれ、スマレやエンレイソウ・カシワなど数多くの草木を観察する一方、砲台跡や貯水槽跡などの史跡、野鳥の鳴き声など非常に興味深いものに接することができ、函館山の自然と歴史を堪能することができました。



第2回講座

第2回は、6月14日（日）七飯町軍川のカリマ国有林にて総勢21名にて「下刈作業」を実施しました。

当日は晴天とはなりませんでしたが、爽やかな初夏の風の中、腰の高さまで伸びた雑草に苦戦しながらも、植栽したミズナラを傷つけないように慎重に作業を行いました。

昼食後は、全員でカマ砥ぎを行い切れ味を取り戻したカマで予定した区域の作業を全て終了しました。



第3回講座

第3回は、7月26日（日）七飯町軍川国有林にて「森への誘い講座」の講座生の方と連携し、総勢34名にてトドマツ人工林除伐Ⅱ類作業を実施する予定でしたが当日はあいにくの雨、それでも何とか作業出来ないものかと出発しましたが、現地に到着した時にはさらに雨脚が強まり、また落雷予報が出たため、作業中止としました。

急遽、近隣のカリマ国有林で台風被害の跡地などを見学して帰路につきましたが、参加された方からは、「何とか作業したかった」「間伐作業を楽しみにしていた」など無念の声が多く聞かれました。



第4回講座

第4回は、8月23日（日）厚沢部町の土橋自然観察教育林で講師に森林インストラクターの高橋武夫さんを招き「観察会」を実施しました。

今回も「森への誘い講座」の講座生の方と連携し、総勢44名でヒバ林の立地や特性、森林の若返り等について学習をしました。

蜂の巣に遭遇したため、2班に分かれて別々のルートを進捗するというアクシデントがありましたが、鬱蒼と茂るヒバ林の中は、ひんやりと涼しく快適な環境の中、教育林の自然を満喫することができました。



第5回講座

第5回は、9月13日（日）駒ヶ岳国有林にて登山体験をする予定でしたが悪天候のため中止としました。

第6回講座

第6回は、10月4日（日曜日）、鹿部町の駒ヶ岳国有林で、「森への誘い講座」の受講者の方と連携し38名が参加して「治山施設の見学会」を開催しました。駒ヶ岳の火山活動と治山事業について渡島森林管理署の担当者から説明を受けたあと、様々な治山施設や土石流センサーなどを見学しました。

当日は、時折強く吹く冷たい風に震えながらの受講となりましたが、みなさんととても熱心に取り組んでいました。



☆ 森林環境教育

🌲 高校生を対象とした下刈作業をサポート

平成27年6月10日（水）、函大有斗高等学校
平成27年6月17日（水）、函大柏稜高等学校

平成16年18号台風で風倒被害を受けたカリマ国有林に平成18年10月有斗高校・柏稜高校の生徒がそれぞれ「有斗希望の森」「柏稜永久の森」としてミズナラ、ブナなど約2,000本を植樹し、以降両校の新生が毎年下刈作業を行っております。

渡島森林管理署が森林環境教育の一環として森林環境講義を含めこの下刈作業の指導をしており、昨年に引き続き当センターも作業指導を中心にサポートを行いました。



🌲 はこだて花と緑のフェスティバル2015に参加

平成27年6月27日（土）・28日（日）、函館グリーンプラザ（松風町）において、「はこだて花と緑のフェスティバル2015」が開催されました。

当ふれあいセンターはその両日に参加し、自然再生モデル事業の活動、森林環境教育の取組、森林で見られる花や動物の写真を「パネル展示」で紹介したほか、「木工体験」として中学生以下の生徒・児童を対象に巣箱・万華鏡づくりの体験指導を行いました。

両日ともパネルを見学したり、親子で木工体験を行うなどたくさんの方で賑わいを見せ、たいへん有意義な2日間となりました。



🌲 駒場小学校で森林教室開催

平成27年7月14日（火）、函館駒場小学校で森林教室を開催しました。

当日は3年生42名を対象に樹木の観察の方法や種類の見分け方を学習し、葉を見て何の木かを当てる「樹木クイズ」をした後、校庭に出て実際の樹木を観察しました。

教室ではやや緊張していた児童も校庭では樹木の種類や特徴を質問するなどとても積極的に観察に取り組みました。



🌲 檜山森林管理署（厚沢部町）主催「グリーンスクール」に協力

平成27年9月17日（木）、江差北小学校を対象とした、檜山森林管理署主催「グリーンスクール」が砂坂海岸林で開催され、当ふれあいセンターは5・6年生を対象とした子ども樹木博士認定会を実施しました。

砂坂海岸林は児童たちが清掃活動などで日頃から親しんできた林で、当日は、まだ残暑の厳しい天候でしたが、どの児童も海岸林の樹木の解説に真剣に聞き入っていました。

その甲斐あって、解説後の試験では、全問正解者が12名も出るなど非常にレベルの高い認定会となりました。



🌲 「道民森づくりネットワークの集い2015」に参加

平成27年10月18日（土）、「道民森づくりネットワークの集い2015」が開催されました。

会場を昨年までの赤レンガ庁舎前庭（札幌市）から野幌森林公園（札幌・江別・北広島市）に移し、森づくり・森あそび体験、植樹体験、森林ガイドツアー、スタンプラリーなど多彩な催しが行われました。

当センターからは、今年度実施した「大沼地域自然再生等モデル事業」「森林環境教育」などの取組や、駒ヶ岳・大沼の自然を紹介するパネル展示をし、活動内容や国有林を取り巻く自然環境のPRを行いました。



🌲 渡島総合振興局渡島東部森林室主催「森への誘い講座」を支援

渡島総合振興局渡島東部森林室主催「森への誘い講座」への支援を、4月22日（水）開講式において国有林の概要についての講演、9月30日（水）七飯町（西大沼国有林）の樹木博士認定常設コースにおいて樹木博士認定会の開催によりそれぞれ行いました。

樹木博士認定会では、25名が参加し、皆さん熱心に学習する一方、和気あいあいと楽しまれ、秋の西大沼の自然をそれぞれ堪能されたようです。



平成27年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
H27. 4.16	木	大沼自然豊かな森づくり協議会を開催(南北海道大沼婦人会館)
H27. 4.22	水	渡島東部森林室「森への誘い講座」への支援(渡島東部森林室で講演)
H27. 5.16	土	第1回吉野山森林植生観察会(吉野山国有林)
H27. 5.24	日	第1回森林づくり塾(函館山)
H27. 6. 7	日	第1回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H27. 6.10	金	「函館有斗高等学校 希望の森づくり」下刈作業を支援(カリマ国有林)
H27. 6.14	日	第2回森林づくり塾(カリマ国有林)
H27. 6.17	水	「函館柏稜高等学校 永久の森づくり」下刈作業を支援(カリマ国有林)
H27. 6.20	土	第2回吉野山森林植生観察会(吉野山国有林)
H27. 6.27	土	はこだて花と緑のフェスティバル2014に参画(函館市)
H27. 6.28	日	はこだて花と緑のフェスティバル2014に参画(函館市)
H27. 7. 2	木	(~H27.7.23)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H27. 7. 6	日	第2回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H27. 7.11	土	大沼自然豊かな森づくり協議会の下刈作業(吉野山国有林)
H27. 7.14	火	駒場小学校で森林教室開催(函館市)
H27. 7.21	火	(~H27.9.9)国際ワークキャンプ(吉野山国有林等)
H27. 7.26	日	第3回森林づくり塾(軍川国有林)
H27. 8. 2	日	第3回樹木博士認定会(西大沼国有林)
H27. 8.23	日	第4回森林づくり塾(土橋自然観察教育林)
H27. 9. 3	木	(~H27.9.24)野生動物自動撮影調査(カリマ国有林等)
H27. 9. 6	日	第4回樹木博士認定会(茂辺地国有林)
H27. 9.17	木	江差北小学校の森林教室「グリーンスクール」で樹木博士認定会(江差北小学校)
H27. 9.26	土	第3回吉野山森林植生観察会(吉野山国有林等)
H27. 9.30	水	渡島東部森林室「森への誘い講座」への支援(西大沼国有林で樹木博士認定会開催)
H27.10. 4	日	第6回森林づくり塾(駒ヶ岳国有林) ※第5回悪天候のため中止
H27.10.18	日	道民森づくりネットワークの集いで情報発信パネル展示(札幌市)
H27.11.10	火	(~H27.11.11)ふれあいセンター等事業検討会(釧路市等)
H27.12.14	月	大沼地域自然再生等検討委員会を開催(南北海道大沼婦人会館)
H28. 2. 5	金	北の国・森林づくり技術交流発表会で森林環境教育について発表(札幌市)
H28. 3.14	月	大沼自然豊かな森づくり協議会を開催(南北海道大沼婦人会館)

主な活動実施区域



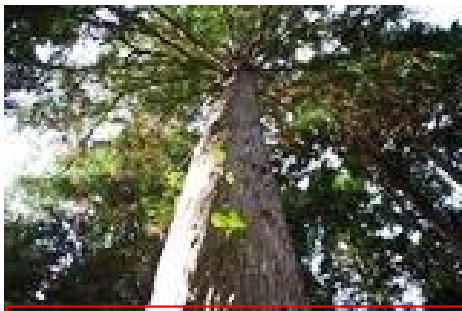
西大沼（にしおおぬま）国有林



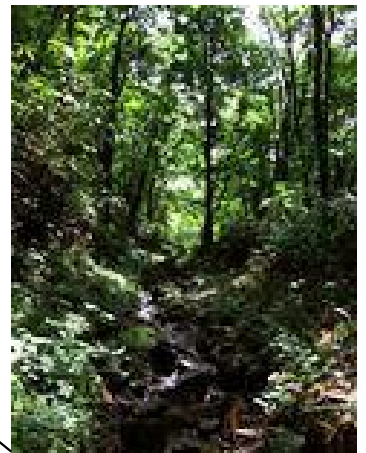
駒ヶ岳（こまがたけ）国有林



砂坂（すなさか）海岸林



椴川（とどがわ）国有林



カリマ国有林



茂辺地（もへじ）国有林



吉野山（よしのやま）国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13
TEL 0138-51-0381
FAX 0138-51-8178
E-mail h_koma_f@maff.go.jp